

実地研修 建物診断をしてみよう！

実施内容

- ・実地研修では、実際に建物を見て診断をしていただきます。
- ・できる限りチェックポイントを現地で確認し、判定をしてください。
- ・混雑を避けるため、3班に分かれて次の順路で回ってください。(自由行動)

1班	(名簿番号1～15)	新館(①～③) → 本館(①～⑤) → 屋外(①～④)
2班	(名簿番号16～30)	新館(③～①) → 本館(⑤～①) → 屋外(④～①)
3班	(名簿番号31～45)	本館(①～⑤) → 屋外(①～④) → 新館(①～③)
4班	(名簿番号46～60)	本館(⑤～①) → 屋外(④～①) → 新館(③～①)
5班	(名簿番号61～75)	屋外(①～④) → 新館(①～③) → 本館(①～⑤)
6班	(名簿番号76～91)	屋外(④～①) → 新館(③～①) → 本館(⑤～①)

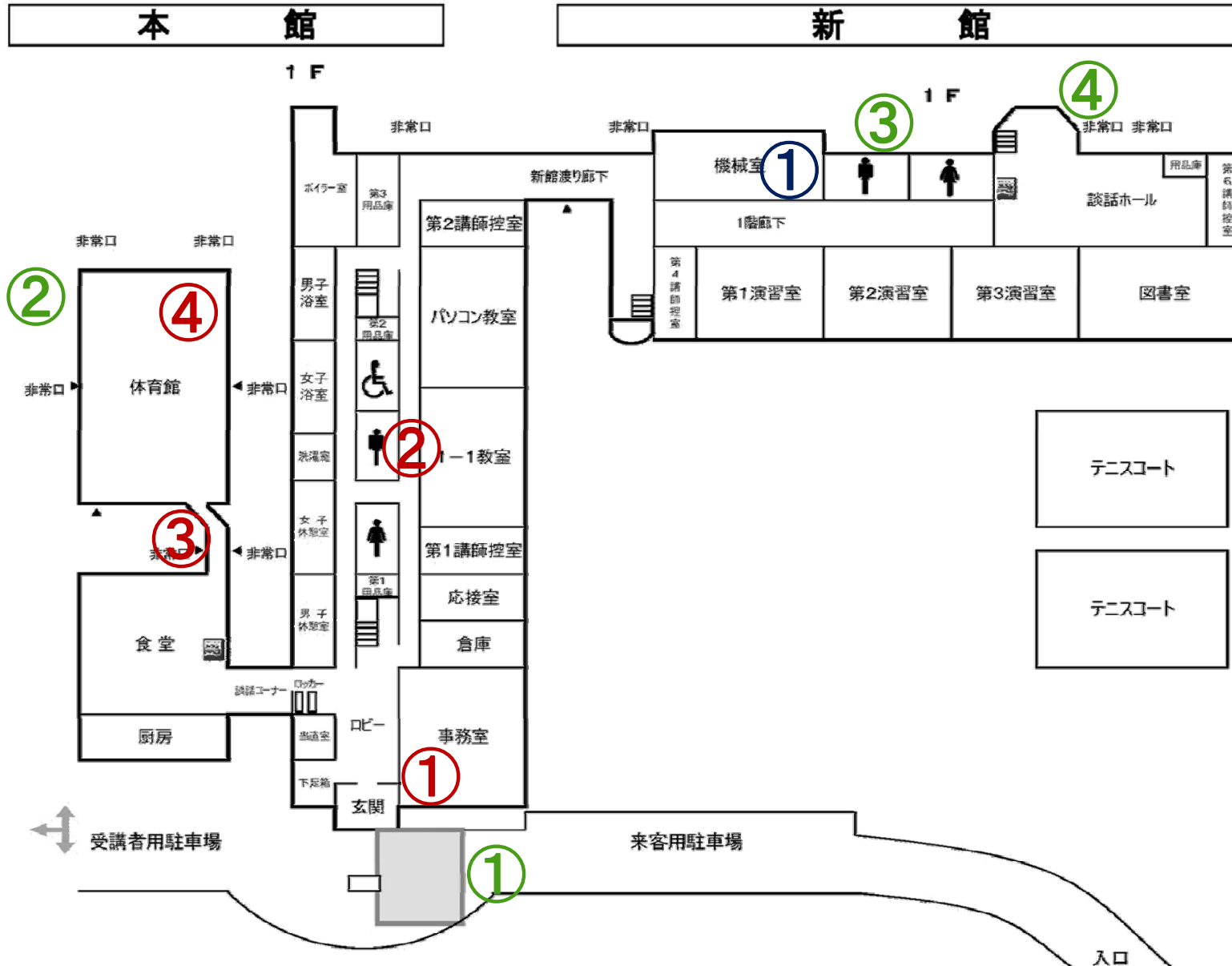
- ・下記の危険度と優先度を記入してください。

項目	判定	判定基準
危険度	a	現時点で危険な状態。(危険:人的被害の可能性あり)
	b	現状のまま使用を続けると危険な状態になる。
	c	現状の使用状況で危険はない。
優先度	A	緊急に更新工事等を実施すべき。(人的被害の可能性あり)
	B	早急に更新工事等を実施すべき。(施設の使用に重大な影響をあたえる)
	C	更新・修繕工事を実施すべき。(5年以内)
	D	更新時期まで現状維持、または今後の状況により対応を検討する。
	E	更新工事等の必要が認められない。

判定のポイント

- 人的被害が発生する可能性はあるか。
- 局所的な劣化であるか。
- 更新年数まではあと何年か。
- 劣化は構造体まで影響する可能性があるか。
 - 鉄筋コンクリート造の場合 : 鉄筋まで影響するか。
 - 鉄骨造の場合 : 錆や腐食するおそれがあるか。
- 直さないと施設の利用環境に関わるか。(使用頻度、需要)
- 光熱費に影響するか。
- 不良箇所がその他の仕上や周辺設備の劣化に影響するか。
- 対応するお金はあるか。

チェックポイント



実地研修 チェックリスト

	写真番号	本館-01		
	階	1階		
	部屋名	事務室		
	部位	自動火災報知器、非常放送設備		
	コメント	耐用年数が過ぎ、更新時期となっている。		
	危険度		優先度	
	写真番号	本館-02		
	階	1階		
	部屋名	男子便所		
	部位	便器		
	コメント	排水が漏れるため、使用禁止としている。		
	危険度		優先度	
	写真番号	本館-03		
	階	1階		
	部屋名	渡り廊下		
	部位	内壁		
	コメント	塗装が一部剥がれている。		
	危険度		優先度	
	写真番号	本館-04		
	階	1階		
	部屋名	体育館		
	部位	鋼製建具		
	コメント	腐食の為開閉不良。		
	危険度		優先度	

実地研修 チェックリスト

	写真番号	本館-05		
	階	3階		
	部屋名	ダクトスペース		
	部位	換気設備		
	コメント	動作不良の為、系統全ての換気設備使用不可。		
	危険度		優先度	
	写真番号	新館-01		
	階	1階		
	部屋名	機械室		
	部位	冷却塔		
	コメント	弁が不良の為、ポンプが常に稼働状態である。		
	危険度		優先度	
	写真番号	新館-02		
	階	2階		
	部屋名	談話ホール		
	部位	内壁		
	コメント	漏水していると思われる。		
	危険度		優先度	
	写真番号	新館-03		
	階	3階		
	部屋名	廊下		
	部位	天井		
	コメント	漏水していると思われる。		
	危険度		優先度	

実地研修 チェックリスト

	写真番号	新館-04		
	階	屋上		
	部屋名	—		
	部位	—		
	コメント	屋上防水の状況		
	危険度		優先度	
	写真番号	屋外-01		
	階	—		
	部屋名	玄関庇		
	部位	玄関庇		
	コメント	錆が進行し、一部軒天井が落ちている。		
	危険度		優先度	
	写真番号	屋外-02		
	階	—		
	部屋名	体育館		
	部位	柱		
	コメント	一部塗装が剥がれ、錆びがみられる。		
	危険度		優先度	
	写真番号	屋外-03		
	階	—		
	部屋名	—		
	部位	外壁		
	コメント	塗装が剥がれている。		
	危険度		優先度	

実地研修 チェックリスト

	写真番号	屋外-04	
	階	-	
	部屋名	-	
	部位	外部床	
	コメント	床タイルが剥がれている。	
	危険度		優先度